

平成19年度全国コミュニティ大会

相模IT経営応援隊

厚木商工会議所参事 斎藤 眞

相模ITC事務局 今井 彬伯

1. 相模ITコーディネータ協議会の背景
2. 相模IT応援隊の計画
3. 19年度相模IT応援隊の活動
4. 実績と課題

相模ITコーディネータ協議会の背景

1. 神奈川県におけるITC組織
横浜、川崎、多摩にあり、県央に無い。
2. 目的
 - ・会員相互の研鑽
 - ・厚木市を中心とした神奈川県県央における中小企業のIT活用による企業活性化への貢献

相模ITコーディネータ協議会の背景

3. 厚木市

ITのまち あつぎ 人口 22, 6000人

平成18年度発表e都市ランキング 3位

平成19年度発表e都市ランキング 7位

- ・厚木市にとって、製造業の活性化は重要な方向性。
- ・厚木市のIT化は市役所のIT活用で、地域中小企業のIT活用まではいっていない。
- ・多くの地域中小企業がIT活用で元気になって、本当の“ITのまち あつぎ”

相模ITコーディネータ協議会の背景

4. 厚木商工会議所 会員数 約3000

工業 500、商業 1000、建設 500

サービス 500、運輸倉庫 500

- ・会員中小企業のIT活用による活性化は商工会議所の目指すところ。
- ・相模ITC設立時より、相模ITC主催セミナーを後援。
- ・相模ITCセミナーに常時数社の企業が無料参加。

相模IT経営応援隊計画

目的 神奈川県厚木市を核とし、いわゆる神奈川県県央地域の企業のIT利活用を推進するための組織である。

地域 当初は厚木市を中心に活動を開始するが、神奈川県小田急線沿線(川崎市、相模原市を除く)、相鉄線沿線(横浜市を除く)の地域。

参加組織

厚木市、厚木商工会議所、神奈川県工科大学
金融機関(商工中金、国民生活金融公庫、八千代銀行)
県央フォーラム、相模ITコーディネータ協議会、

活動開始 平成19年4月より。

相模IT経営応援隊3力年計画

	17, 18年度 (実績)	19年度 (1年目)	20年度 (2年目)	21年度 (3年目)
組織	準備	厚木市で組織 立ち上げ 相模ITC拡大	近隣との交渉 相模ITC拡大	県央地域に組 織拡大 相模ITC拡大
活動	厚木商工会議所ととも に両年度にIT経営者 研修会を実施	経営者研修会 成熟度診断	経営者研修会 成熟度診断 CIO研修 1伝道師企業	経営者研修会 成熟度診断 CIO研修 1伝道師企業
IT化	研修3企業がIT化推 進 3社コンサル	3社コンサル	3社コンサル	5社コンサル

経済産業省委託事業
平成19年度中小企業等IT経営実践促進事業

相模IT経営応援隊

事業内容

IT活用普及啓発セミナー
(IT化の効果の気づきセミナー)

3回 各10社 各3時間

IT化の効果、重要性を認識していただくセミナーです。経営者によるIT活用事例発表も行います。

IT経営者研修会

2回 各11名 各6時間×3日間

IT化のための経営戦略、情報化戦略の策定の実習を行い、自社の戦略を作成します。

自社のIT成熟度診断

個別支援 3社 各6時間×2日間

IT経営戦略策定のためにITコーディネータの指導の下に、自社のIT成熟度診断を行います。

IT経営戦略策定

個別支援 3社 各6時間×3日間

IT化の具体化のための自社の経営戦略、情報化戦略をITコーディネータの指導の下に策定します。

IT化推進相談窓口

厚木商工会議所内

経済産業省委託事業
平成19年度中小企業等IT経営実践促進事業

関東IT経営応援隊

厚木商工会議所

事務局

当事業の主催者です。

相模IT経営応援隊

相模ITコーディネータ協議会

- ・普及啓発セミナー講師
- ・経営者研修会講師
- ・成熟度診断コーディネータ
- ・IT経営戦略策定コーディネータ
- ・事務局支援

神奈川工科大学

・技術支援

厚木市役所

IT化施策・支援

金融機関

- ・参加企業募集
- ・IT化支援
- 商工中金 横浜西口支店
- 国民生活金融公庫 厚木支店
- 八千代銀行 厚木出張所

県央フォーラム

・IT導入実現

経済産業省委託事業
平成19年度中小企業等IT経営実践促進事業

相模IT経営応援隊行事日程

IT活用普及啓発セミナー

開催日時 (下記から1つ選択)

①平成19年8月24日(金)、25日(土)、29日(水) 15時～18時

場所 神奈川工科大学 ITエクステンションセンター

IT経営者研修会

開催日時 (下記のいずれかを選択)

①平成19年9月19日(水)、27日(木)、10月10日(水) 10時～17時

②平成19年10月5日(金)、12日(金)、25日(木) 10時～17時

場所 神奈川工科大学 ITエクステンションセンター

IT成熟度診断

開催日時 11月半より相談の上、3回(週1回)

場所 受講社内

IT経営戦略策定

開催日時 1月初より相談の上、3日間(隔週程度)

場所 受講社内

平成19年度相模IT経営応援隊 実績(中間)と評価

1. 啓発セミナー

集客 ・3金融機関に依頼、
・商工会議所会員に広報

目標 30名 結果 12名(10社)

評価 ・7月半からの広報となり、集客期間(8月23日まで)に夏休みが入り、十分な集客活動ができなかった。
・7月末までに集客完了を目指すこと。
・通常のセミナーに加えて企業経営者の経験談を入れたことの評価大。IT企業経営者もIT活用の意味を考えさせられたとの評価。

平成19年度相模IT経営応援隊 実績(中間)と課題

2. 経営者研修

目標 12社(22名) 結果 11社(11名)

- ・啓発セミナー参加者の約半数が参加。

セミナー後の企業訪問で参加を促した結果。

- ・さらに、可能性のありそうな企業を訪問し参加促進。

課題

- ・終日3日は参加企業にとって負担大
- ・休日開催の要望有。
- ・半日4日と言う要望有。
- ・1社2名を出せるほど余裕が無い。

平成19年度相模IT経営応援隊 実績(中間)と課題

3. 成熟度診断、経営戦略策定

目標 3社 結果 3社

- ・経営者研修受講企業11社中、自主的申込みは1社。
- ・研修終了後に研修参加企業全社を訪問し経営者に説明し、参加を促す。
- ・組織的に小さい企業(5人以下)は経営革新の気持ちはあっても、対応できない。

平成19年度相模IT経営応援隊

特徴

1. 商工会議所が主催者

- ・商工会議所会員に広く広報。
- ・商工会議所がこのような事業をやっていることに対する会員の評価。
- ・商工会議所にIT化推進窓口を設置
 - ・広報だけでは相談に来ない。企業訪問で課題の抽出。結果、非常に高い評価。
- ・他地域商工会議所に広報
 - ・他地域商工会議所職員の参加
 - ・地域企業のIT化支援のために勉強したい。

平成19年度相模IT経営応援隊

特徴

2. 将来のため行政も支援組織となっていた。
いた。

- ・市役所の関連部門からも研修に参加していただき、理解を深めていただいた。
- ・市役所内部のためにも活用できる、中小企業のIT化促進支援のために持っている必要のある考え方である、との評価。

平成19年度相模IT経営応援隊

特徴

3. 金融機関の支援で集客した。
 - ・企業の状態をよく把握している。
 - ・この事業を理解してもらう。
4. 実際のIT導入時のために、地元IT企業団体に支援組織となっていた。
 - ・地元IT企業による、地元中小企業のIT化促進こそ、安価に、きめ細かく遂行できる、という考え。
 - ・そのために経営者研修にIT企業の参加をお願いした。自社の経営革新も目的に。

平成19年度相模IT経営応援隊

今後

1. 終了後に1社でもIT導入を開始することを期待し、伝道師企業としたい。
2. その結果、地域中小企業が本気でIT活用を目指す雰囲気醸成したい。
3. 周辺地域への拡大を期待。周辺商工会議所、商工会と連携。
4. 市役所、金融機関からの信頼の高まりにより、真の“ITのまち、あつぎ”に貢献する。

ご清聴ありがとうございました。

相模IT経営応援隊

厚木商工会議所参事 斎藤 眞

相模ITコーディネータ協議会 今井 彬伯